



石部南学区 まちづくり協議会広報

平成25年5月15日発行

第24号

広報部会

発行：石部南学区まちづくり協議会 湖南市石部南 3-5-1 石部南まちづくりセンター内 電話 0748-69-7068

平成25年度定期総会が開催されました

4月21日(日)午前10時より石部南まちづくりセンターにおいて、定期総会が開催されました。来賓を代表して、市長代理の中川政策調整部長より挨拶をいただいた後、大島会長より平成24年度活動についての総括と、各部会長より活動報告がありました。それに引き続いて大島会長より平成25年度の経営方針が示されました。その後、山本副会長より新組織体制および規約改訂案についての説明、続いて各部会長より平成25年度活動計画案とそれに伴う予算案と全7議案について審議が行われ、全て承認されました。



25年度新役員



中川市長代理



大島会長



出席者の皆さん



来賓の方々

平成25年度方針および重点取り組み

経営方針

自分たちのまちは、自分たちで協力と協調をもって楽しく、明るいまちをつくりましょう」

1. お年寄りや子供たち、また障がいのある方が住みやすいまち
2. 自然が美しいまち
3. 歴史・伝統・文化を大切にするまち
4. 安心・安全なまち
5. スポーツを通じて親睦を深めるまち

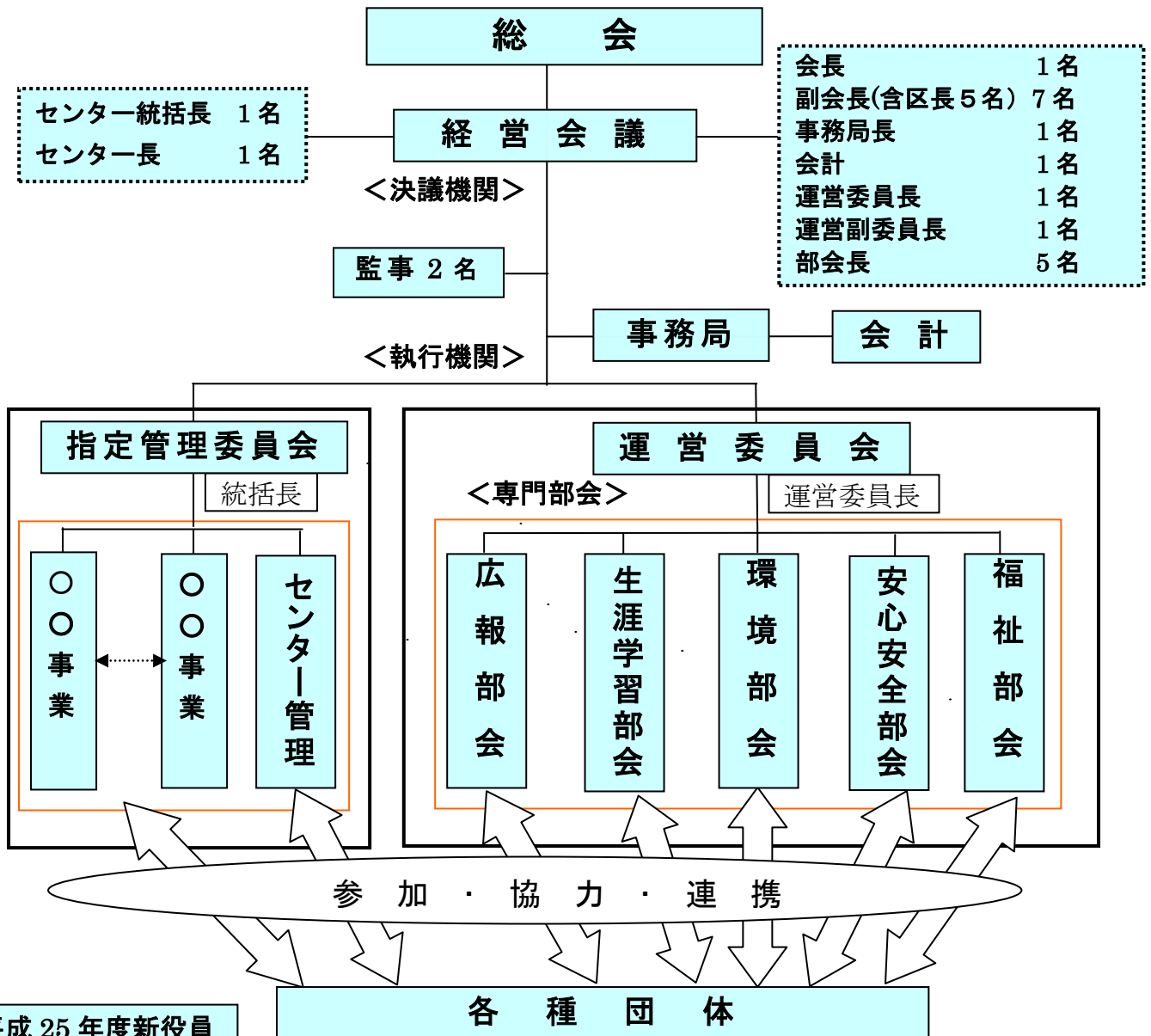
こんなまちを全員で作りましょう

重点取り組み

25年度の重点取組は継続しつつ、

1. 地域福祉活動の活性化
2. 環境美化・エコ活動の実施
3. あいさつ運動
4. 避難訓練の実施
5. 広報活動の継続と充実
6. 指定管理事業の推進と啓発活動
7. 女性のまち協運営への参画推進
8. 福祉施設関係者のまち協運営への参画推進

平成25年度 石部南学区まちづくり協議会組織図



平成 25 年度新役員

- ・ 会長 大島正秀 (宝来坂区長)
- ・ 副会長 土居憲昭 山本清孝 大谷 巖 (宮の森区長) 黒木 寛 (石部南区長)
竹内 平一郎 (西寺・丸山区長) 北村紀嗣 (東寺区長)

ボランティア部門

- ・ 会計 中村淑博 (宮の森) ・ 事務局長 田中幸雄 (宝来坂)
- ・ 運営委員長 横瀬恒雄 (石部南) ・ 運営副委員長 山本清孝 (西寺・丸山)
- 《専門部会》・ 福祉部会長 山元角雄 (東寺) ・ 環境部会長 前谷光三 (宝来坂)
- ・ 生涯学習部会長 鵜飼 淳 (宮の森) ・ 安心安全部会長 横瀬恒雄 (石部南)
- ・ 広報部会長 小向賢太郎 (西寺・丸山) (敬称略)

指定管理部門

- ・ センター統括長 土居憲昭
- ・ センター長 横瀬照子

25年度事業計画

総合事業

- ・ 湖南省地域活性化推進事業「きらめき湖南」
安心なまちづくり「ハートフルベンチ」かまどベンチとソーラー照明の設置、
防災掲示板設置、防災避難訓練、宿泊体験、防災ふれあいウォーク
- ・ 防災訓練 第4回石部南学区防災訓練
- ・ 石部南学区ふれあい祭 10月27日(日)
サークル・講座・団体作品展示コーナー・ 体験試食コーナー等

専門部会

生涯学習部会

- ・ 地域の歴史と文化を継承するとともに後世に残す活動を進める。
明るいまちづくりの起点である「声かけあいさつ運動」を学区内に
拡大する。
伝統行事への参加（いもち送りなど）、学区内の文化芸術発掘調査、歴
史散策、声かけあいさつ運動の啓蒙活動の強化

福祉部会

- ・ 学区内福祉状況の問題・課題を調査し、改善につなげると共に、
福祉団体のPRを行う。
小地域福祉活動——子どもドッジボール大会、スローイングビンゴ等
の行事開催
福祉団体の紹介活動——障害者施設、高齢者施設、福祉団体等

環境部会

- ・ 静かでうつくしいまちを維持し、さらにうるおいのあるまちづくりを進
める。
清掃活動（ゴミ拾いウォーク）、美しい環境づくり（花苗の植え替えやプ
ランターづくり）、各区祭りでの地元野菜の販売

安心安全部会

- ・ 安心・安全なまちづくりの為に防犯、防災の訓練はもとより、緊急
対応を身につける勉強会を実施する。
学区域防災・防犯危険箇所マップ作成、防災避難訓練、防災被災地研修、
ふれあい防災ウォーク等

広報部会

- ・ 部員のまちづくりの知識を向上すると共に、学区内の認知拡大を
図る。
広報紙の発行、掲示板の維持管理、ホームページの維持管理、
広報活動の継続と充実、外部組織との交流や勉強会、広報ツールとして
缶バッジの制作機購入と行事参加者への配布等

石部南学区まちづくり協議会のホームページアドレス
<http://www.ishibe-minami.net/>

平成25年度「きらめき湖南地域活性化事業」

安心なまちづくり「ハートフルベンチ」プラスワン

かまとベンチ

5月

7月



石部南幼稚園



阿星保育園



近江学園



雨山文化公園

みんなで造ろう
かまとベンチ



阿星屋外ステージ

ソーラー照明&防災掲示板

9月

12月

防災避難訓練

8月10~11日

ふれあい防災ウォーク

3月6日



各自治会活動だより

宝来坂区

- ① 5月3日 自治会主催の子ども春祭りは、晴天の中、集会所を起点に子どもみこしを大勢で担ぎ、団地内を練り歩き「もみじ・あざみ」まで巡行しました。
- ② かなかなサロン4月例会は、27日に「筍掘りと筍料理を楽しもう」を丸山地先の竹林をお借りし、開催しました。



東寺区

5月4日 区主催の子ども春祭りを開催しました。神輿を担ぎ白山神社に祈祷後、村中を巡行しました。
子供30名(総勢60名)の参加で巡行後はご馳走を頂き、楽しい1日を過ごしました。



石部南区

5月5日 区主催の「子どもとシニア」のふれあい祭を開催しました。
「こいのぼり」を揚げた後、「餅つき」をして「たこ焼き、綿菓子等」を食べながら昔遊びで楽しい1日を過ごしました。
参加者は合わせて約300名でした。





【常楽寺】

常楽寺は、元明天皇(和銅年間 708～715)約 1300 年前に良弁が開き、一部の資料では金肅菩薩が開いたともいわれている。長寿寺は聖武天皇(天平年間 729～749)約 1280 年前に良弁が開いた。常楽寺は草創期は法相宗であったがその後天台宗に転じた。(当時は観音堂である)(金肅菩薩は 694～724 和銅年間)(良弁は 729～749 天平年間)に活躍され(689 年～773 年没)、金肅菩薩に名を授けられたとあるが活躍の年代が異なるので疑問である。又、長寿寺と常楽寺は聖武天皇の紫香楽宮の鬼門守護の寺であったと言われている。

紫香楽宮が造営され(山岳仏教 5 千坊の名残と言われている)宮から北の鬼門寺として守護寺とされたとある。

元明天皇が(和銅年中)約 1300 年前大岳の阿星山(693.1m)に仏堂を開き阿星寺と号した。この阿星寺が火災にあい、その本尊であった千手千眼観音菩薩が西寺にあった草堂に飛来されて、この草堂には十一面観音像が祀られていたがそれより二尊が並置されこの観音堂が常楽寺の主堂であったと思われる。

保延 6 年(1141)872 年前近衛天皇は大病を患われ早く病気が退散すべく観音堂において御祈願せよとの勅使を賜り(行胤上人)は七日間御祈願されたところ靈験いちじるしく平癒なされ大変お喜びになり観音堂の大改築の恩恵を受けたのである。

十二世紀の中頃 亀山天皇の時(1260～1287)約 737 年前干天が続き常楽寺において(西輪院義雲)は雨乞いの祈願をし雨を降らせた。その礼として国家鎮護の寺として歴代天皇の信仰を深めた。それ以来延文年間まで祈願所として隆々と栄えた。

延文 5 年(1360) 653 年前 3 月 26 日 雷火による火災が発生し堂塔僧坊 30 余り及び寺山が焼失し、その後同年延文 5 年に再建された。と一資料にあるが、別説として他資料には延文元年(1356) 657 年前に大火により一山灰に帰し、その年より「観慶」は浄財を募って復興に努め延文 5 年(1360) 火災後 5 年目に再建されたと記している。が、本当の時期は定かでない。

又、一部の資料には延文 5 年に焼失し数年たって再建されたとあるが延文 5 年 7 月記で本堂再興開進状(重文)が残されていることから延文 5 年をさること遠くない時期に竣工したと考えられる。

本尊の両脇にある 28 部衆と風神雷神が千手観音の眷属であり徳事 3 年(1308)(1314)約 677 年前などの墨書銘が胎内や顔面内にあるので本堂焼失の 20 年前の作であり火災の時には難を逃れた(鎌倉中期の年代であり運慶の作となる)又十一面観音菩薩像も火災の難を避け釈迦如来像・二十八部衆と共に損なうことは無かったが、阿星山より飛来したといわれる千手千眼菩薩像は火災の最中に紛失した。又その後十一面観音菩薩像もいつの時代か紛失し今は見る事ができない。

次号につづく